

チーム（多草種混播）で雑草侵入を防ぐ

TMRセンターのFでは、草地更新時にチモシー（競合力が他の牧草と比較してやや弱く、2番草の再生が緩慢）と雑草との競合に比較的強いオーチャードグラスやペレニアルライグラスをは種する多草種混播に取り組んでいます。

【目的】

- ①シバムギやリードカナリーグラスなどの強害雑草の侵入や繁茂を防止するため
- ②雑草の侵入、繁茂の速度をできるだけ抑制し、植生を維持するため
- ③10年間、安心して使える草地を目指しているため

【取り組み内容】

（更新時）

- ①更新時に除草剤（グリホサート系）を3回使用しています ※費用をかけても徹底した雑草対策
 - ・1回目 更新前年の9月（2番草収穫後）
 - ・2回目 更新年の5月（耕起・整地・鎮圧前）
 - ・3回目 更新年の7月（牧草は種前）

②牧草の種類とは種量

- | | | | |
|-------------|------------|------------|-----------|
| ・チモシー | 1.8kg/10a | ・オーチャードグラス | 0.1kg/10a |
| ・ペレニアルライグラス | 0.15kg/10a | ・アカクローバ | 0.2kg/10a |
| ・シロクローバ | 0.1kg/10a | | |

- ③は種時期 7月20日くらい～下旬 ※越冬までの生育期間を十分に確保するため

（更新後）

- ①草地面積全体の1割程度を目安に、毎年計画的に更新しています
- ②土壌診断の分析値や植生に応じて、炭カルや土壌改良材（標津町産ホタテ貝殻）を、毎年秋に40kg/10a程度を施用しています
- ③更新後3年目の秋までは、スラリーの散布（踏圧によるダメージを回避するため）を控えています

【今後の取り組み予定】

今後は、試験的にオーチャードグラスに代えてトールフェスクの導入を検討中です。

オーチャードグラスは、ペレニアルライグラスより越冬性に優れ、初期生育は早いですが、収穫適期を過ぎると栄養価の低下が早い草種です。

そのため、栄養価の低下の程度がペレニアルライグラスと同程度のトールフェスクを導入し、オーチャードグラスに代えて利用する予定です。



更新翌年の様子（R5年8月22日）
チモシー、シロクローバのほかにペレニアルライグラス、オーチャードグラスが確認できました